2月のできごと

街のアルバム

二月二十三日
東名富士インター
利用車二億台突破

一人一人が大切にされる男女共同参画社会に向けて
即興劇で考える「女と男のいい未来」

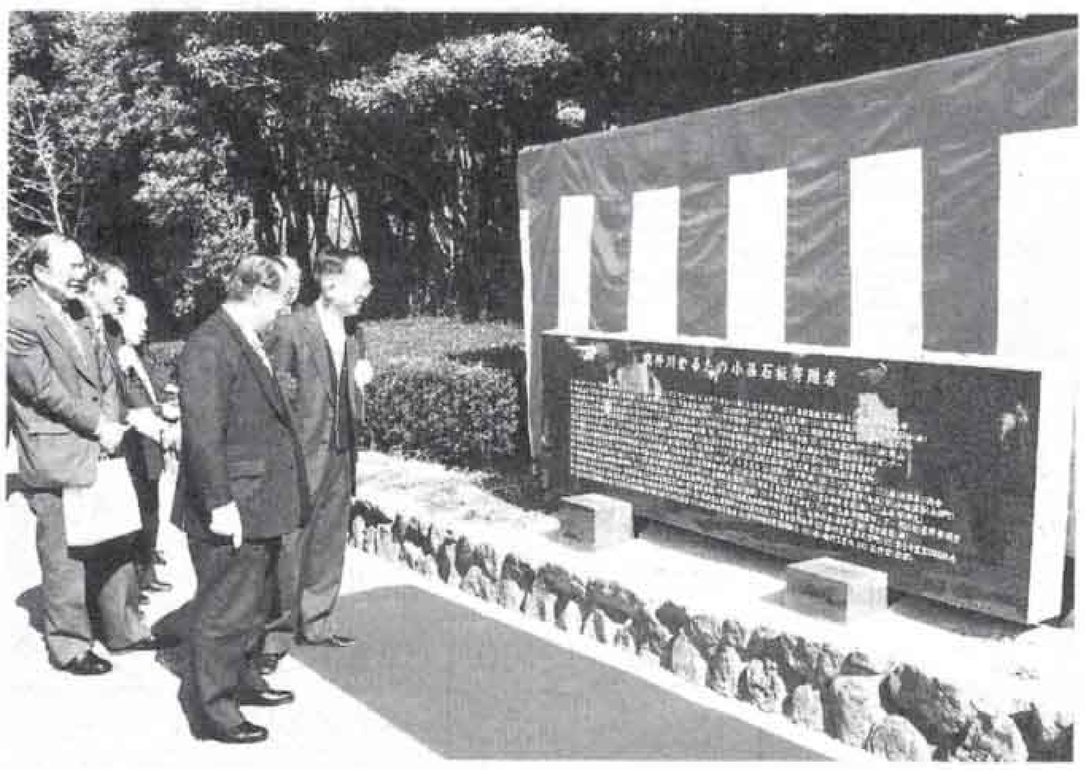
2月23・25日　「男女共同参画プラン」の推進事業、即興劇で考える「女と男のいい未来」が保健女性センターで行われました。参加者は劇団プレイバッカーズの即興劇を間近に見ることによって、男女の区別なく、一人一人が大切にされる男女共同参画社会の実現に向けて思いをめぐらせていました。

人と馬の密接な関係を懐かしむ
「滝川観音祭」

2月9日　原田地区に春の訪れを告げる「滝川観音の春の祭典」が原田の妙善寺で行われました。妙善寺は、昭和30年代まで草競馬が開催されていて、馬ゆかりの地として知られています。ことしも御殿場市の乗馬クラブから馬の参加があり、多くの地元の人たちは馬とのふれあいを楽しみながら、一足早い春を満喫していました。

都市計画道路津田蓼原線が開通
「潤い橋開通式」

2月28日　潤井川にかかる津田と藤間を結ぶ新たな橋、「潤い橋」が完成し開通式が行われました。式典には関係者170人が出席。その後、消防音楽隊の先導で、地元の三世代夫婦を先頭に渡り初めを行い完成を祝いました。これにより吉原・富士市街地が最短で結ばれ、旧国道1号などの幹線道路の交通が分散し、渋滞緩和が期待されます。



百人一首の歌を刻み込んだ石板を設置
「潤井川かるたの小径」完成式

2月23日　文化の薫り高い、新たな観光スポットとして期待される「潤井川かるたの小径」が完成し、ロゼシアターで完成式が行われました。この小径は、中央公園周辺の潤井川沿いに設置された全長1,800メートルの遊歩道。「旅と人生ゾーン」「季節の彩りゾーン」「恋する思いゾーン」の三つのゾーンに分けられ、それぞれにふさわしい百人一首の歌が刻み込まれた石板が100枚設置されました。